

# 地域連携をめざして

ゲスト **荒木 重雄**さん  
(千葉ロッテマリーンズ 企画部長)

**三枝 一雄**  
県医師会 副会長

**吉井 功**  
県医師会 顧問

**吉井** 昨シーズンの「日本一」、さらにはアジアシリーズでの「初代アジア王者」、おめでとうございます。ありがとうございました。

**荒木** ありがとうございます。マリーンズの栄光は、ファンの皆様、そして県民の皆様のご支援があったればこそと、感謝しております。

**三枝** 11月20日に千葉市内で行なわれた優勝祝賀パレードは、凄かったですね。24万人ものファンや市民の方々が集まり、喜び合う姿には理屈抜きで感動を覚えました。

**荒木** それは嬉しいお言葉です。「人を動かす、心を動かす」ことが、エンターテインメントとしてのプロ野球のあるべき姿、というのが私の持論ですから…。

**吉井** 荒木さんは昨年、球団の企画広報部長に就任され、マリーンズ改革の担い手のお一人ですが、なぜ球団経営に参画するようになったのですか？



荒木 重雄さん

あらき しげお ● プロフィール

1964年生まれ。青山学院大学大学院で経営学を学び、04年、東京大学スポーツマネジメントスクールを受講。外資系通信会社の日本法人社長を経て、2005年1月千葉ロッテマリーンズ企画広報部長に就任、12月から現職。

**荒木** 昨年は「プロ野球改革元年」ともいわれ、球団再編問題、セ・パ交流戦など何かと話題が多かったです。マリーンズも「身売り説」が流れるなど、球団経営の改革を迫られていました。

改革に当たって何をしたらかというと、フロント人事の刷新、それも外部からさまざまな人材を招聘したのです。私もお誘いを受けた一人で、実は、それまでプロ野球とはまったく縁のないIT関係のビジネスマンでした。

ただ、野球全盛期に幼少期を過ごしたこともあって、野球には憧れがあり、東大のスポーツマネジメントスクールで学んだことが生かせるかなというところで、お引き受けすることにしたのです。

**三枝** 「野球」という言葉は、俳人・正岡子規（1867-1902）の造語といわれます。子規は幼名を升（のぼる）といい、それにちなんで「のぼる」つまり「野球」にしたそうです。

学生時代（旧制一高）は名キャッチャーとして知られ、その随筆や俳句には野球が登場するほどです。

私は野球は詳しくありませんが、昔から千葉県出身の長嶋ファンで、ジャイアンツびいき。そのジャイアンツがこのところふるわないので、そろそろマリーンズにしようかとも思っているところです（笑）。

**吉井** まだ迷っているのですか（笑）。…それは冗談として、私のように東京生まれで70年も生きていくと、ほとんどがジャイアンツファンです。第二次世界大戦中の軍国少年達は、戦後の娯楽がまったくない貧しい時代に、鋤（すき）を棒切（ぼうきり）に代えて、野球少年に変身しました。

旧制中学では、日本古来の武道が禁止され、地区対抗野球大会が一大イベントとして始まり、そして六大学野球と、私の野球熱はますます燃



え上がりしました。長嶋のプロデビュー戦は、後楽園球場の三塁側スタンドの最前列で見ました。千葉に来てからは、医局マッチに熱を入れ、東大などとの定期試合によく出かけました。

近年のジャイアンツはお金で有名選手をかき集めた結果、リーグに戦力格差が目立つようになってきました。もはや企業努力の成果だけでは説明がつかなくなり、多くのジャイアンツファンが徐々に「ジャイアンツ依存症」から脱却して、「ジャイアンツ・アレルギー症」になってしまったようで、私もその一人です。

**荒木** 同感です。プロ野球の球団経営でいえば、従来のビジネスモデルはテレビの放映権収入で、ジャイアンツ戦があるセ・リーグは黒字あるいは僅かな赤字、そうでないパ・リーグは半永久的に赤字を脱却できません。ところが、球団はその赤字体質を変えようとしません。これは一般のビジネスではあり得ないことです。

私はビジネススクールに通っていた頃から、スポーツ界をビジネス面から見た場合、収益構造的に根本的に見直す必要があるのではないかと、この思いを抱いていました。実は、数年内に地上波アナログ放送が打ち切られ、従来の放映権を中心としたビジネスモデルが通用しなくなりません。その時に備えて今、何をすべきか：ここから、私にとつてのマリーンズ改革の第一歩が始まったのです。

**三枝** それは何だったのですか？



三枝一雄 県医師会副会長

**荒木** 球場への観客動員を増やすことです。そこで「ボールパーク構想」を打ち上げ、千葉マリンスタージアムを「家族みんなが楽しめる野球公園」にしようと、さまざまなプランを考え、実行しました。要するに、ファンサービスですね。中には、バレンタイン監督のアイディアもいくつかあります。

例えば、5回終了時にファンがグラウンドでの走塁や外野フィールドでの捕球体験ができたり、カラオケ・デーやカメラ・デーなど選手と直接触れ合う機会を増やしました。また、球場外では出店や縁日などの催しものがあり、野球観戦以外でも楽しめる球場づくりをめざしたのです。

選手にとつての最大のファンサービスは、良いプレーをし、試合に勝つということですが、いつも良いプレーができ、いつも勝てるわけがありません。でも、ファンはわざわざ遠いところから足を運んでくださるわけですから、試合の結果はともかく、「楽しかった。また来よう」と思つて帰っていただくことが大事です。マリンスターズは、ファンを「26番目の選手」と位置づけ、「ファンあつての球団」という思想をフロント、監督、そして選手が共有できたことが、結果的に優勝に結びついたと思います。

ろから足を運んでくださるわけですから、試合の結果はともかく、「楽しかった。また来よう」と思つて帰っていただくことが大事です。マリンスターズは、ファンを「26番目の選手」と位置づけ、「ファンあつての球団」という思想をフロント、監督、そして選手が共有できたことが、結果的に優勝に結びついたと思います。

**吉井** 千葉マリンスタージアムは海の近くですから、独特の風が吹きますね。私は学生時代にヨットをやっていたものですから、風に敏感で、プレーの妨げになるのではと気がかりです。屋根をつけようという声もあつたようですが…。

**荒木** ありましたが、つけなくて欲しいとお願ひしました。たしかに、選手にとつては風が集中力をそぐ要素になる場合がありますが、相手チームも同じ条件ですから、むしろホームチームには「風を味方にできる」利点があります。昨年は66試合行ないましたが、無風だったのは2試合だけです。

むしろ屋根がないことで、桜吹雪(紙吹雪)や花火などのイベントをファンの皆様に楽しんでいただけたことのほうが、メリットがありました。

**吉井** そういえば、野球の本場アメリカでは2000年以

## 巻頭トーク

地域連携をめざして



降、ボールパーク革命が起き、人工芝や屋根のない球場ができていますね。ドーム球場は半分以上くらいで、屋根なしが最近のトレンドになっているようです。野球は太陽の下で、空き地でやるものといった原点回帰志向が働いているという指摘もあります。

**三枝** テレビで拝見すると、球場でのマリーンズファンの応援の仕方は、ジャイアンツやタイガースとまったく違いますね。あれは誰かの演出なのですか？

**荒木** いえ、自然発生的なものです。初めて球場に来られた方も、すぐ参加できるようにシンプルな応援を特徴にしています。

**吉井** 私は千葉県医師国民健康保険組合の役員をしているのですが、昨年度は保健事業の一環としてプロ野球観戦を取り上げ、4席の指定席を確保しました。球場までの長い距離を歩き、観客席の階段を昇り降りすることでかなりの運動量になります。

スポーツという言葉は「はしゃぎ回る」というフランス語に由来し、童心にかえり動き回ると、心はいつしかりフレッシュされて、明日への意欲が湧いてきます。できればこの事業を、今後も続けて行きたいと考えております。

**荒木** ぜひ、お願いいたします。ファンを増やすためには、洋服のサイズのようにSS、S、M、

L、LLのそれぞれを大事にしなければならぬと考えてきました(下図参照)。それとともに「地域連携」という視点が、これから益々重要になってくることを痛感しています。

**三枝** 「地域連携」は、千葉県医師会も「健康宣言」(左ページ参照)に掲げるキー・ワードの一つです。しかし、残念ながら医師会がどんな活動をしているのか、まだまだ県民の方々に広く知られていないのが実情です。マリーンズが「ファンあつての球団」を強く意識しているように、私ども医師会も「患者さんあつての医師」を合言葉にしています。荒木さんのお話をうかがいながら、この合言葉をもう一歩深く考えてみる必要があると思いました。

**荒木** 私どもの親会社のロッテは、「健康産業」をキー・ワードにしております。その意味で、



吉井 功 県医師会顧問

SS	サポーター&スポンサー Supporter & Sponsor
S	スタジアム Stadium
M	メディア Media
L	ローカル(地域) Local
LL	リーグ&ロッテ本社 League & LOTTE

マリーンズと医師会は何らかの形での「地域連携」が可能なのではないかという予感がします。

**三枝** それは心強いですね。県民の皆さんのためになることなら大歓迎です。お互いに価値ある「地域連携」をめざしてまいります。…今シーズン、ぜひとも2連覇を達成されることを期待しております。

**荒木** 日本一のチームに耐えられるように頑張りますので、ご声援をよろしくお願いいたします。

**吉井** 本日は、ありがとうございました。